

科目	社会と情報	単位	2	対象	1年
目標	<p>情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。</p>				
学習内容	<p>学習内容</p> <p>(1) タイピング練習</p> <p>(2) 情報社会と私たち 情報社会、情報とメディア、情報モラルと社会のルール</p> <p>(3) 情報機器とデジタル表現 情報機器とデジタル、デジタル表現</p> <p>(4) 表現と伝達 表現の工夫、表計算ソフトの利用、プレゼンテーション</p> <p>(5) コミュニケーションとネットワーク コミュニケーション、ネットワーク、情報セキュリティ</p> <p>(6) 情報社会と問題解決 情報システムと人間、問題解決、情報発信</p>				
学習のワンポイント・アドバイス	<p>情報の信憑性や信頼性、情報モラルなどに重点を置きつつ、情報機器の仕組みや操作の基礎技術を実習で学習していきます。携帯電話やネットワークを前提としたサービスの利便性とトラブルを知り、実際の生活に活かして欲しい。</p> <p>情報機器の操作技術の差が問題になることはありませんので、主体的に授業に参加して下さい。</p>				
評価の方法	<p>次の1～3を総合的に判断して評価する。</p> <p>1 定期テスト、実技テスト</p> <p>2 課題ファイル、課題レポート</p> <p>3 日々の授業態度（授業に意欲的に参加し、実習など率先して取り組んでいるか等）</p>				
使用する教科書、教材等	<p>教科書（実教出版 最新社会と情報 新訂版）</p>				
進路との関わり	<p>1 社会ではコンピュータネットワーク、ワープロ、表計算、プレゼンテーション等の操作技術は必要とされている。これらの基本操作を身につけ、表現力を高めよう。</p> <p>2 進学や就職活動でのコンピュータや携帯電話、スマートフォンの活用が増えているほか、ネットでの振る舞いが就職に影響するなど知識とマナーが重要になっている。</p>				

科目	表現メディアの編集と表現	単位	2	対象	3年選択
目標	コンピュータによる表現メディアの編集と表現に関する知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる。				
学習内容	<p>アプリケーションソフトウェアによる実習を通して表現メディア（文字・図形・静止画・音・動画）の特性やコンピュータによる編集等に必要な基礎的な知識と技術の習得を図る。</p> <p>「コンピュータグラフィックスの制作」では「PhotoShop Elements」を使用し、フォトレタッチやアニメーションの基礎的な知識と技術の習得を図る。</p> <p>「音・音楽の編集と表現」ではフリーソフトによる実習を行い、音声の基礎的な知識と技術の習得を図る。</p> <p>「映像の編集と表現」では「Movie Maker」や「Premiere Elements」による実習を行い、フリーソフトと有料ソフトの機能や操作の違い、映像編集の基礎的な知識と技術の習得を図る。</p> <p>それぞれ作品制作を行い、コンピュータを用いた表現の知識と技能を身に付ける。</p>				
学習のワンポイント・アドバイス	<p>身の回りにあふれているマルチメディアに注目し、その目的や効果、自分でも作れるものなのかを考えながら日々を過ごし授業に参加して欲しい。基礎操作等における個人差が出るほど特別な操作はない。主体的に授業に参加し、学習意欲・創造意欲を高めて欲しい。</p>				
評価の方法	<p>次の（１）～（３）を総合的に判断して評価する。</p> <p>（１） 課題ファイル</p> <p>（２） 作品</p> <p>（３） 日々の授業態度（実習・演習に意欲的に取り組んでいるか等）</p>				
使用する教科書、教材等	<p>オリジナル教材</p>				
進路との関わり	<p>現在はテレビ・インターネット・スマートフォンなど、あらゆるメディアで表現技術が必要とされるようになっている。学生・社会人ともに、表現するための創造力、技術が求められている。実習を通して操作技術・表現力を高め、進学・就職に活用・活躍の機会がめぐってくるはずです。</p>				